

## 第4回目の探検隊は、久手先生を先頭に

## 布敷から別所への道を行く

ふるさと池内探検隊の4回目は、池姫神社から始まりました。10月17日（土）の午前9時に集まったのは、久手先生、子ども4人とおとな11人、舞鶴市民新聞の青木記者、城南館長の18人。

池姫神社の社殿には「蛇」の額が掲げてあります。右の写真でいえば、正面から見て左側の白壁の内側にあります。額の絵は見にくくなっていますが、確かに蛇の絵が描いてあります。池姫神社は蛇を祀る龍神の社なのです。



池姫神社に集まって

### 村人たちのために、大蛇の生贄いけにえになった娘

久手先生は、こんなお話をしてくださいました。昔々、池内の人たちは田んぼや畑を造るために荒地や草地を切り開いていきました。その村人たちが困ったのは、水のそばや大きな石の下に大蛇がいたことです。恐ろしい大蛇を見て、病気になる者もいました。そこで、村人たちは、どうにかして大蛇を退治することはできないかと考えました。

村人たちが考えたことが生贄を差し出すことでした。池内の村の美しい娘を大蛇のために差し出すというのです。

村人はその娘に鋭い剣を持たせました。大蛇は、村人たちが美しい娘を差し出したことにととても喜びました。大蛇がその娘を飲み込もうとした時、娘は鋭い剣で大蛇ののどを突き刺しました。こうして、村人たちを困らせていた大蛇は退治されたのです。

しかし、大蛇を倒した娘も蛇のたたりで死んでしまいました。娘と大蛇の死を悲しんだ池内の村人たちは、この大蛇と娘を池姫神社に祀ることにしました。



### 蛇は、雨ごいの神様となる

ところで、蛇は水辺にいることが多いため雨ごいの神様になりました。池内でも、雨が降らない時は、蛇や娘を祀り、雨ごいをするのです。

池内で干ばつがあったときは、9月の9日か10日に石引きのお祭りをしたのだそうです。五郎の滝の辺りにある大きな石を池姫神社までの700メートルほど引きました。修羅（しゅら）というそりのようなものに乗せ、ころの上を引いて行くのです。すると、不思議に雨が降ったといえます。

### 最後の雨ごいは昭和18年

ふるさと池内探検隊に参加されていた別所の堀江さんが、子どもの頃、大人が石引きをしているのを見たと教えてくださいました。

それは、昭和18年の夏休みの終わるころでした。当時は戦争中だったので男手がありません。村に残っていた年寄りや女たちが石を引いたのだそうです。こんな掛け声をかけながら石を引いたといえます。

「ヤーレ、綱の衆、テコの衆、ハー、ヨイトヨセ、  
ヤーレ、気合をそろえて、頼むぞよ、  
ハー、動いたぞよ、ハー、ヨイトコセ」

石を引いている途中で雨が降り出しました。大人たちは、とても喜んでいただけのことです。

その話を聞いている途中で、探検隊員のある方が質問をしました。九月というともう稲刈りの時期ではないのですかと。ところが、この当時は、田植えも今より遅く、6月ごろにしていたそうです。稲刈りは10月です。ですから、その当時は8月といっても水の必要な時期だったのです。

この昭和18年の石引きが、雨ごいの最後の石引きだったといえます。

### 布敷の「弥勒堂」

お釈迦様の教えを継ぐ弥勒さまが、布敷の「弥勒堂」に祀られています。

なかなか姿のいい弥勒菩薩です。長く信仰されているうちにいたんできたので、漆を塗り直すなどして修復されたそうです。



布敷の「弥勒菩薩」

### 五郎の滝

布敷公民館の向かいにある「弥勒堂」を見たあとで、池内川沿いを「五郎の滝」に向かいました。散歩するにはちょうどよいコースです。

ふるさと池内探検隊の皆さんも、歩いて五郎の滝に行く人が多かったです。天気もよく、気持ちのよい道でした。道端には、カタバミやミズヒキなどかわいい花が咲いています。



「五郎の滝」には、きれいな水が流れています。滝には、白い水しぶきがたっています。ここを「布敷」というのは、滝の水しぶきが白い布を敷いているように見えるところからきているといいます。美しい水の流れを見てみると、なるほどと思います。

探検隊の皆さんは、きれいな水の流れに癒されたり、美しい景色に見とれたりしていました。

シイタケに似たきのこを採ってきた人がいました。おいしそうです。でも、これは毒キノコなのだそうです。

シイタケならば、軸は白くなっています。しかし、このキノコの軸は黒くなっています。これは、ツキヨタケなど毒キノコの特徴なのだそうです。



## 池内に池をつくった 五郎山



次に訪れたのは、別所の高福寺です。ここからは、五郎山がよく見えます。五郎山のへこんだ所、ここが大雨で崩れたところです。そのために、川の水がせき止められ、池内には大きな池ができました。これが、「池内」という地名のついたいわれといいます。

五郎山は、平家の落武者千人が隠れた所ともいいます。ですから、「千人隠し」ともいうのだそうです。

このほかに、平家の落武者が隠れたところには、堀・池ノ内下・出合いがあるそうです。「出合い」にいた人たちは、後に「岸谷」と「白滝」に分かれて住んだといわれています。

今、布敷から別所への府道を拡幅工事しています。しかし、なかなかの難工事なのだそうです。昔、土砂崩れで流れてきた大きな岩や細かい粒の土が工事のじゃまをしているようです。五郎山の土砂崩れは、今も人々を悩ませているようです。



## 高福寺

高福寺の前に「不許葷酒入山門」と書いた石柱が立っています。ねぎやニラのようなにおいのきついもの、酒は寺の中に入れてはいけないという戒めのことばが書いてあるのだそうです。このことばが書いてあるのが禅宗の特色だともいいます。

また、山門の前にはお地蔵さんも立っています。お地蔵さんが立っておられるのは、困った人がいたら、すぐに助けに行けるようにとのことでした。

高福寺は、今は曹洞宗のお寺ですが、昔は違っていたそうです。奈良の大仏を建立するために聖武天皇から頼りにされた行基は、諸国の人々を助けるために各地を回って功德を施されました。その行基が別所にも来られたという話があるのだそうです。その行基が建てた寺が高福寺の元だともいいます。

しかし、戦国時代、織田信長は行基たちのような考え方の仏教に反対の立場をとりました。そのために、高福寺は武士に受け入れられやすい曹洞宗に変わったのだということです。

不許葷酒入山門



高福寺山門前で



お寺の横にある防空壕

高福寺のすぐそばの山のふもとに防空壕がありました。今は、もう崩れて中に入ることができません。穴は2つあって、中でつながっています。

戦争中、アメリカの飛行機が飛んで来た時には、ここに逃げ込んだのだそうです。

高福寺では、若い和尚さんにも話をうかがいました。親切な和尚さんで、探検隊のみんなが高福寺の観音堂を見ようとしていたら、見やすいように扉を開けてくださいました。

探検隊に皆さんは、たくさんの観音様を拝観できて喜びました。昔は、高福寺の観音祭りにはたくさんの人が集まり、店も出て、にぎやかだったといえます。しかし、だんだんと人も少なくなり、祭りが途絶えてしまいました。和尚さんの尽力もあり、久々に来年は観音祭りが復活します。





観音堂の観音様

今回のふるさと池内探検隊は、高福寺でお話を聞いたり見学をしたりしているうちに時間がきてしまい、この後に予定していた西南戦争に従軍された方の忠魂碑や大空神社には行けなくなってしまいました。

そこで、西南戦争で池内村では2名の方が亡くなられたことや、大空神社にはお宮さんなのに釣鐘があることを、この場で教えてもらいました、

この碑は、明治10年3月16日に熊本県二俣の地で戦闘になった時、銃による傷で落命された方を慰霊して明治33年に建立されたものです。もう1人の戦死された方は今田の人です。

そのほか、日露戦争で池内下の方が1名、シベリア出兵で1名の方が戦死されています。先の第二次世界大戦では99名の方が戦死されています。

今の日本の平和のために、先人が尽くされた犠牲を思う時、身の引き締まる感慨を覚えます。



西南戦争の時の忠魂碑



大空神社



大空神社の釣鐘堂

大空神社は、別所の随分高い所がありました。どうして「大空」という名前が付いたのか、興味深いものがあります。この大空神社には釣鐘堂があります。お宮さんに釣鐘堂があるのはめずらしいですね。

大空神社に上がっていく道の反対側、川側には、今はもう少なくなったクルミの木がありました。

## ふるさと池内探検隊の皆さんの感想

毎回、先生が時間を気にしながら話をしてくださるのは、たいへんです。もう少し時間がとれないでしょうか。別所はすごくいい所ですね。1日ゆっくり探検できることを望みます。

織田信長の宗教弾圧が、こんな小さな村にも大きな影響を与えていたことに、目からうろこでした。市内の村々に曹洞宗が多い理由がわかりました。それと、五郎の滝の美しさには感心しました。もっと市民に伝えてほしいと思いました。

お天气に恵まれ、池姫神社のお話や建物も懐かしく思われ、「昔の子どもたちの集う、育む場所だった」と言われることがよくわかりました。高福寺…新しい所へ上がらせてもらい、少し寺子屋の雰囲気味わうこともできました。虫の音もよかったです。



今住んでいる地域のことが知れてよかったです。この地にも、いろいろな歴史の流れ（影響）があったのだと思いました。楽しかったです。



わたしは、初めて池内探検をしました。いろいろ、池内のことが知れました。



高福寺が、きれいでした。

池内の知らなかったことが、わかりました。

池姫神社の蛇の話に関わって、久手さんも見たことがあるという話を聞いて驚いた。本当に大きな蛇がいたんだとびっくりであった。布敷の地名の由来も興味深かった。

お寺は、すごいと思いました。また、神社の釣鐘について知ることができて楽しかったです。

知らなかった歴史を知ることができて驚いた。

- 布敷の名称
- 巨石が点在する理由

五郎の滝を見に行ったり、池内川のきれいな流れがあったり、回りに巨石がたくさんあったりして散策が楽しかった。

子どもが出席できず、代わりに来させていただきましたが、知らない面白い話ばかりで、あっという間の時間でした。普段、何も思わず通っていた道、子どもが遊んでいる場所が、昔、こんな色々な出来事があり、歴史があったのかと知り、たいへんな驚きでした。

## 第5回ふるさと池内探検隊

日 時 11月21日(土) 9:00~11:30(予定)  
 集合場所 倭文神社(今田)  
 探 検 先 池内川の瀬替え → 倭文神社 → 寺子屋 → 上殿古墳  
 解散場所 今田公民館

